

令和2年7月3日

発 言 者	発 言 要 旨
森谷委員	さくらんぼの価格がそれほど低下していないとのことであるが、補正した青果物価格安定対策事業の発動の見込みはどうか。
園芸農業推進課長	6月29日時点で佐藤錦の価格は2,174円/kgで、不作で高値だった前年の97%、入荷量は1,237tで前年の103%となっており、発動しない見込みとなっている。今後、残りの収穫等もあることから注視していく。
森谷委員	農家等の持続化給付金の受給状況は把握しているのか。
農政企画課長	持続化給付金の支給は県を通らないことからまとまった情報がないが、対象になるのか不明だと言う方もおり申請数が少ないと聞いている。農産物出荷が本格化するこれから、秋・冬にかけても対象だとなれば、県としてもサポートしていく。
吉村委員	補正した青果物価格安定対策事業の財源はどうか。また、発動しなかった場合の取扱いはどうなるのか。
園芸農業推進課長	国の臨時交付金を充当しており、発動しなかった場合は他の事業に充当すべく検討していきたい。
加賀委員	閉会日である本日、知事から提案された補正予算はコロナ禍の医療従事者への減収補填ではなく支援金という趣旨になっているが、現時点で、農林水産業分野で支援金など検討しているものはあるのか。
農政企画課長	農林水産関係では品目ごと、その都度価格対策等を講じていくというスタンスとしている。今後、支援金を支給するということを否定はしないものの、現時点で検討しているものはない。
加賀委員	補正予算は我々に事前の情報が何もない中、唐突感のある提案となっている。農林水産関係で新たな対策を講じるという場合は、未確定でもしっかり我々に情報提供しながら対応してほしい。